

藤波こども園

園長だより No. 64

令和2年11月6日
文責 竹原 篤



旧 藤波幼稚園 現 藤波こども園

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年通りの行事が行えていませんでしたが、三密を避けることをはじめ、手洗いや消毒・マスクの着用など感染防止のいろいろな対策を行い、ホーム運動会やお散歩・遠足などの行事を安全に行える内容で実施しています。このように少しずつ園行事ができるようになってきたのも保護者の皆様のご理解とご協力があるからと感謝しています。

ホーム運動会では月組さんがリーダーになり星組さんや花組さんに優しく競技や演技を教えている姿にたいへん感動しました。この取り組みでも異年齢で関わる縦割り保育のよさが多く見られました。



例年4月に行っていた花組の交通安全教室もやっと10月に実施でき、散歩にも行けるようになりました。散歩は四季に触れ、いろいろな変化に気付き、感受性を育んだり運動能力を高めたり交通ルールを学んだりできる大切な保育活動だと考えています。本当にできるようになりよかったと思います。



月組さんが野菜や果物作りをしていた畑をきれいにして、来年月組へと進級する星組さんに引き継ぎをしました。この引き継ぎは月組さんが「次何植えようか」と考えていた時に「植え替えても私たち1年生になっているで！」そのような中で「だったら星組さんにプレゼントしよう」という話になり行われたようです。よきモデルだった月組さんの姿を目指して、星組さんも美味しい野菜を楽しく栽培してくれることと思います。



園児の言動より保護者様に感じていただきたいこと

子どもにとって、環境の大きな変化がストレスとなり、時には「心のケア」が必要なときもあります。しかし、「心のケア」と言っても特別な専門家が行うことだけではなく、それぞれのご家庭で取り組んでいただくこともあります。子どもの心身の健康を支えるための参考になればありがたいです。

◎子どもが強いストレスを感じたときの反応

子どもが強いストレスを感じたときには、体調面・心理面・行動面で様々な反応が出ます。これは子どもの心が自らを守ろうとするために起こるものであり、異常なことではありません。多くの場合、子どもへの関わり方により、時間が経つにつれて徐々に反応は和らいでいきます。

○体調面では眠れない・食欲がない・頭痛・腹痛など

○心理面では不安・気分の落ち込み・イライラなど

○行動面では甘え・おねしょ・落ち着きのなさなど

☆十分に甘えさせてあげる。一緒に布団で寝たがったり抱きついてきたりするなど普段以上に甘えてくることがあります。子どもが不安な気持ちを和らげようとしているのだと思います。このようなときは理屈ではなく、十分に甘えさせてください。幼児には「そばにいるよ。大丈夫だよ。」と言葉で伝えることも有効かと思います。

☆話にじっくりと耳を傾ける。子どもが自分の心配事や気になることを話すときは、決して話を急かせたり、遮ったりせず、じっくりと時間をとって耳を傾けてあげてください。子どもが楽しいと思える時間を一緒に過ごすことも大切だと思います。

☆不安を抱かせる情報から遠ざける。子どものまわりには様々な情報が伝えられていますが、子どもにとっては過度に不安を喚起する表現や映像も多くあります。できるだけこのような情報からは子どもを遠ざけることも大切かと思います。

子どもさんのことで悩みごとがあればご遠慮なさらず『こども園』に相談してください。

赤い羽根募金

今年度も皆様方各ご家庭のご協力をお願いしたいと思います。ご家庭で思いやりの心を育てられるよう子どもたちと話し合っていたいただけたらと思います。共同募金運動は、1947年に「国民たすけあい運動」として始まり、現在では『じぶんの町を良くするしくみ』として、地域の皆様から寄せられた募金が高島市の福祉活動に役立てられています。〆切りは12月4日（金）です。ご協力よろしくお願いいたします。



🌸ありがとうございます🌸

【いただきました】

ティッシュ	上小川	評議員	湊田常博様より
ティッシュ	上小川		保護者様より
ストロー	下小川		保護者様より
数珠玉	上小川		中村様より
かぼちゃ	上小川		中村様より

